# 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月9日


上場会社名　株式会社 セキュアヴェイル　　上場取引所　東
コード番号　3042　URL　http://www.secuavail.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 米今　政臣
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　管理本部長　(氏名) 三木　亮二　TEL 06-6136-0020

四半期報告書提出予定日　平成25年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第1四半期 | 181 | 4.4 | 2 | ― | 2 | ― | 2 | ― |
| 25年3月期第1四半期 | 173 | △28.2 | △33 | ― | △33 | ― | △33 | ― |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第1四半期 | 0.68 | ― |
| 25年3月期第1四半期 | △10.41 | ― |

(注)当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 26年3月期第1四半期 | 503 | 367 | 73.0 | 113.14 |
| 25年3月期 | 511 | 364 | 71.3 | 112.42 |

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　367百万円　25年3月期　364百万円

(注)当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

## 2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | ― | 0.00 | ― | 0.00 | 0.00 |
| 26年3月期 | ― | | | | |
| 26年3月期(予想) | | 0.00 | ― | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

## 3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 375 | 11.3 | △8 | ― | △8 | ― | △8 | ― | △2.65 |
| 通期 | 804 | 6.5 | 30 | ― | 30 | ― | 28 | ― | 8.64 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

(注)当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益(又は損失)」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年3月期1Q | 3,245,000 株 | 25年3月期 | 3,245,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期1Q | ― 株 | 25年3月期 | ― 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年3月期1Q | 3,245,000 株 | 25年3月期1Q | 3,240,495 株 |

(注)当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第１四半期累計期間 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）経営成績に関する説明

当第１四半期累計期間における我が国経済は、政権交代後の経済政策や金融緩和策への期待を背景に円安・株高が進み、徐々に景況感は回復の兆しが見えてまいりました。しかしながら、欧州をはじめとする海外景気に対する不安感など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

情報セキュリティ業界におきましても、依然として企業のＩＴ投資は低下しており、セキュリティ対策についても案件の小型化や費用の減額傾向が続いております。

しかし近年、特定の企業や官公庁をターゲットとした標的型攻撃が世界的に横行したことにより、企業情報システムを取り巻く脅威はますます多様化し、その手口も巧妙かつ高度化が進み、企業のセキュリティ対策への重要性は増しており、今後、需要は増加するものと見込まれます。

このような環境のなか、当社におきましては、経営基盤の強化及び安定的な収益確保に注力し、最大の強みであるセキュリティ監視業務を主軸としたストック型サービスの積み上げに集中してまいりました。

また、コスト面におきましては、継続的な見直しと固定費の削減を実施し、経費抑制を図り、収益性の向上に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は181,106千円（前年同四半期比4.4％増）、営業利益2,452千円（前年同四半期は営業損失33,478千円）、経常利益2,464千円（前同四半期は経常損失33,468千円）、四半期純利益2,202千円（前同四半期は四半期純損失33,726千円）の黒字転換となりました。

### （２）財政状態に関する説明

流動資産は452,184千円（前期末比9,400千円減）となりました。これは主として売掛金が81,800千円減少し、現金及び預金が66,399千円増加したことによるものです。

固定資産は51,011千円（前期末比1,241千円増）となりました。これは主として建物が390千円及び工具器具備品が1,173千円増加したことによるものです。

この結果、資産合計は503,195千円（前期末比8,158千円減）となりました。

流動負債は128,016千円（前期末比10,441千円減）となりました。これは主として買掛金が29,764千円減少し、前受金が20,162千円増加したことによるものです。

固定負債は8,024千円（前期末比59千円減）となりました。これは長期リース資産減損勘定が59千円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は136,040千円（前期末比10,501千円減）となりました。

純資産合計は367,154千円（前期末比2,342千円増）となりました。これは主として利益剰余金が2,202千円増加したことによるものです。

### （３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年５月10日に発表いたしました「平成26年３月期の業績予想」につきましては、現時点において変更はありません。

## ２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## ３．継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度から引き続き、セキュリティ監視業務を主軸としたストック型ビジネスに注力し、安定的な収益確保を図る経営戦略が奏功し、当第１四半期累計期間において、営業利益及び経常利益を計上し、経営の基盤は安定化の傾向にあります。

しかしながら、利益水準の面においては、安定した水準に達したと判断するまでには至らず、引き続き、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況が存在するとの認識でおります。

ただし、当第１四半期会計期間末において、現金及び預金を338,644千円保有していること、無借金経営であること、自己資本比率が73.0%、流動比率は353.2%であることなど、財務状態は健全な状態にありますので、さらに、経営基盤の強化・安定的な収益確保を図るため、ストック型ビジネスの経営資源を集中する戦略を推進することで、当該事象又は状況の解消を図ることが可能であると認識しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないものと判断しております。

なお、将来的な情報セキュリティ分野のシステムや機器は、これまで以上に、益々多様化が進むものと予測されます。それらを運用する企業のオペレーションにおいても、その目的別に運用を行う必要性が増し、一般の企業や官公庁の中にも、当社が運営するセキュリティオペレーションセンターに似た部署の設置などが必要となってくる可能性が高まると考えられます。

そのようななか、当社のフラッグシップサービスである「ＮｅｔＳｔａｒｅ」を軸とした統合運用管理サービスが重要な役割を担うことができると思われますので、同サービスの拡販戦略が、成長の鍵であると考えており、当該事象等を解消するために、以下に記載いたしました課題を実施することで安定した収益を確保し、経常的な黒字化に向け取り組んでまいる所存であります。

① 営業スキルの高度化

特に、若い営業マンの早期戦力化を図るため、技術に関する知識レベルを運用技術者と同等またはそれに近いレベルにまで引き上げることに注力し、販売パートナー企業とともにエンドユーザーとの商談を行う際において、常に運用技術者が同行しているのと同様の専門的な説明が行えるようスキルアップを図ります。

これにより、今まで以上に、より具体的に、より効果的な提案を可能にし、ストック型サービスの契約件数増加、並びに上位サービスへの移行による安定した収益の拡大を図ってまいります。

② 研究開発の充実

お客様に対して、安定したサポートサービスを、継続的に提供するためには、常に進化、多様化するセキュリティ関連の技術向上を追い求め続けることが必要であり、それにより常に安全で安心なサポートサービスを提供し続けることが可能となるため、研究開発の充実は必要不可欠な事項であります。

・自社開発ソフトウエアのバージョンアップ
・対応可能機器の範囲拡大のための検証作業
・最新技術の調査と修得

上記に特に注力し、いつの時代にもプロフェッショナルな集団であり続けることで顧客満足度を向上させ、既存サポートサービスの更新率を高め、安定した収益の維持を図るとともに、サポート対応機器の範囲を広げることで、新規獲得の機会を増加させてまいります。

③ 人材教育システムの強化

当社の最大の財産は人材であり、サービスの基盤となっております。そのため、前提となる知識や技術の修得は必須の要件であり、これまで以上に専門教育の充実を図ってまいります。

また、そのことにとどまらず、コミュニケーション能力の向上に対する教育にも力を注いでまいります。昨今、情報通信機器の発達や、ＳＮＳの氾濫などにより、直接的な対人コミュニケーション力を鍛える機会が少ないことを懸念しており、お客様に対する説明力・表現力を中心としたコミュニケーション能力のスキルアップについては特に力を注いでいかなければならない重要項目であると考えております。

## ４．四半期財務諸表

### （１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

| | 前事業年度<br>（平成25年３月31日） | 当第１四半期会計期間<br>（平成25年６月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 272,245 | 338,644 |
| 売掛金 | 168,170 | 86,370 |
| 商品及び製品 | 2,202 | 4,523 |
| 仕掛品 | 74 | 525 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,664 | 3,507 |
| 前渡金 | 2,363 | 2,622 |
| 前払費用 | 12,291 | 15,250 |
| 未収入金 | 572 | 739 |
| 流動資産合計 | 461,584 | 452,184 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 49,954 | 50,394 |
| 減価償却累計額 | △19,291 | △19,340 |
| 減損損失累計額 | △29,757 | △29,757 |
| 建物（純額） | 905 | 1,296 |
| 車両運搬具 | 2,735 | 2,735 |
| 減価償却累計額 | △2,452 | △2,452 |
| 減損損失累計額 | △283 | △283 |
| 車両運搬具（純額） | － | － |
| 工具、器具及び備品 | 65,118 | 66,548 |
| 減価償却累計額 | △50,536 | △50,792 |
| 減損損失累計額 | △12,843 | △12,843 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 1,738 | 2,912 |
| 有形固定資産合計 | 2,644 | 4,208 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウエア | 3,581 | 2,994 |
| 無形固定資産合計 | 3,581 | 2,994 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,311 | 4,450 |
| 長期前払費用 | 302 | 370 |
| 差入保証金 | 38,929 | 38,986 |
| 投資その他の資産合計 | 43,543 | 43,807 |
| 固定資産合計 | 49,769 | 51,011 |
| 資産合計 | 511,354 | 503,195 |

（単位：千円）

| | 前事業年度<br>（平成25年３月31日） | 当第１四半期会計期間<br>（平成25年６月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 57,645 | 27,881 |
| 未払金 | 4,690 | 6,299 |
| 未払費用 | 15,695 | 16,712 |
| 未払法人税等 | 2,499 | 965 |
| 未払消費税等 | 2,650 | 3,879 |
| 前受金 | 37,577 | 57,740 |
| 預り金 | 4,211 | 6,842 |
| 賞与引当金 | 12,665 | 7,366 |
| リース資産減損勘定 | 820 | 328 |
| 流動負債合計 | 138,457 | 128,016 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 8,024 | 8,024 |
| 長期リース資産減損勘定 | 59 | － |
| 固定負債合計 | 8,084 | 8,024 |
| 負債合計 | 146,542 | 136,040 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 410,800 | 410,800 |
| 資本剰余金 | 387,800 | 387,800 |
| 利益剰余金 | △433,987 | △431,784 |
| 株主資本合計 | 364,612 | 366,815 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 199 | 339 |
| 評価・換算差額等合計 | 199 | 339 |
| 純資産合計 | 364,812 | 367,154 |
| 負債純資産合計 | 511,354 | 503,195 |

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

| | 前第１四半期累計期間<br>（自　平成24年４月１日<br>至　平成24年６月30日） | 当第１四半期累計期間<br>（自　平成25年４月１日<br>至　平成25年６月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 173,491 | 181,106 |
| 売上原価 | 122,446 | 109,279 |
| 売上総利益 | 51,044 | 71,826 |
| 販売費及び一般管理費 | 84,522 | 69,373 |
| 営業利益又は営業損失（△） | △33,478 | 2,452 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6 | 6 |
| 受取配当金 | 2 | 4 |
| 雑収入 | 0 | 0 |
| 営業外収益合計 | 9 | 11 |
| 経常利益又は経常損失（△） | △33,468 | 2,464 |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△） | △33,468 | 2,464 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 257 | 261 |
| 法人税等合計 | 257 | 261 |
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | △33,726 | 2,202 |

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。